

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

【中枢】

High-dose MTX(sLV)療法

2~3週毎 コース予定

疾患名 中枢神経リンパ腫 (CNSL)

主治医 指導医 HBs抗原()、HBs抗体()、HBc抗体()、HCV抗体()

スケジュール

	day1	day2	day3	day4
メソトレキセート(メトトレキサート) 3000 mg/m ²	↓			
アイソボリン(レボホリナート) 10 mg/body/回		↓↓↓↓	↓↓↓↓	↓↓↓↓

- 【注意】
- * 一日の尿量が3000 mL以上になるように化学療法開始前日より輸液を行う。
 - * 補液にメイロンを混注して尿をアルカリ化(pH≥7.0)する。
 - * MTX投与開始後24時間後・48時間後・72時間後のMTX血中濃度が、それぞれ1x10⁻⁵M(10 μmol/L)未満, 1x10⁻⁶M(1 μmol/L)未満, 1x10⁻⁷M(0.1 μmol/L)未満であることを確認し、どちらか一方でも超えた場合は、各々1x10⁻⁵M未満, 1x10⁻⁶M未満, 1x10⁻⁷M未満になるまで、十分な水分の補給、尿のアルカリ化、レボホリナートの増量や投与延長を行う。

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

day 1

- | | |
|-----------------------------|--------------|
| ① 生食500 mL にて血管確保 | 維持(20 mL/時間) |
| ② グラニセトロン 3 mg | 側管静注 |
| ③ デキサメタゾン 9.9 mg + 生食 20 mL | 側管静注 |
| ④ メソトレキセート + 生食 350 mL | 120 分点滴静注 |

※ 生食150 mLをバッグから前もって抜いておく

day 2~

- | | |
|----------------|------|
| ① アイソボリン 10 mg | 側管静注 |
|----------------|------|

アイソボリン 25 mgを生食 5 mLにて溶解後、必要量 2 mLを採取する。

メソトレキセート投与開始24時間後より開始し、6時間ごとに繰り返し静注する。

24、48、72時間後に血中MTX濃度を測定する。

【中枢】High-dose MTX(sLV)療法

day 2, 3

- ① 生食 500 mL にて血管確保 維持(20 mL/時間)
- ② デキサメタゾン 6.6 mg + 生食 20 mL 側管静注

day 4

- ① 生食 500 mL にて血管確保 維持(20 mL/時間)

	コース day1
月日	/
メソトレキセート 開始時刻	↓
確認	

	コース											
	day2				day3				day4			
月日	/				/				/			
アイソボリン 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
確認												